

第2期計画の数値目標
(平成29年度～令和3年度)

スポーツ
実施率

【政策目標】
成人のスポーツ実施率を週1回以上が65%程度(障害者は40%程度)、週3回以上が30%程度(障害者は20%程度)となることを目指す。

【施策目標】
成人のスポーツ未実施者(1年間に一度もスポーツをしない者)の数がゼロに近づくことを目指す。

数値目標	計画策定時	実績値						目標値
成人の週1回以上のスポーツ実施率	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R3	
	42.5%	51.5%	55.1%	53.6%	59.9%		65%程度	
数値目標	計画策定時	実績値						目標値
障害者の週1回以上のスポーツ実施率	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	
	19.2%	—	20.8%	—	25.3%	24.9%	40%程度	
数値目標	計画策定時	実績値						目標値
成人の週3回以上のスポーツ実施率	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R3	
	19.7%	26.0%	27.8%	27.0%	30.9%		30%程度	
数値目標	計画策定時	実績値						目標値
障害者の週3回以上のスポーツ実施率	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	
	9.3%	—	9.8%	—	12.5%	12.3%	20%程度	
数値目標	計画策定時	実績値						目標値
成人のスポーツ未実施者(1年間に一度もスポーツをしない者)	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R3	
	32.9%	20.7%	14.8%	15.2%	13.2%		0%に近づける	

第2期計画の数値目標 (平成29年度～令和3年度)

子供の体力等

【施策目標】
自主的にスポーツをする時間を持ちたいと思う中学生を80%にすること、スポーツが「嫌い」・「やや嫌い」である中学生を半減することを旨とする。

子供の体力水準を昭和60年頃の水
準まで引き上げることを旨とする。

総合型地域
スポーツク
ラブ（総合
型クラブ）

【具体的施策】
総合型クラブの登録・認証等の制
度を整備(47都道府県)

中間支援組織を整備(47都道府県)

PDCAサイクルにより運営の改善
等を図る総合型クラブの増加（目
標70.0%）

総合型クラブによる地域課題解決
に向けた取組を推進(25%程度)

数値目標	計画 策定時	実績値					目標値
自主的にスポーツする時間を持ちたいと思う中学生の割合	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R3
	58.7%	64.6%	65.1%	65.3%	—		80.0%
数値目標	計画 策定時	実績値					目標値
スポーツが「嫌い」・「やや嫌い」である中学生の割合	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R3
	16.4%	16.3%	16.2%	15.8%	—		8.0%
数値目標	計画 策定時	実績値					目標値
子供の体力水準 ※昭和60年の水準を 50とした時の値	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3
	46.4	46.3	46.3	46.4	46.1	45.2	50

※R2については、新型コロナウイルス感染症の影響で例年より標本数が少ない等の関係から、参考値の扱い

数値目標	計画 策定時	実績値					目標値
総合型クラブの登録・認証制度を整備している都道府県数	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R3
	0	—	—	—	—		47
数値目標	計画 策定時	実績値					目標値
中間支援組織を整備している都道府県数	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R3
	0	—	—	—	—		47

※総合型クラブの登録・認証制度の運用は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響等により、令和4年度から運用開始

数値目標	計画 策定時	実績値					目標値
PDCAサイクルにより運営の改善等を図る総合型クラブの割合	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3
	37.9%	36.4%	37.6%	34.4%	36.3%	32.5%	70.0%
数値目標	計画 策定時	実績値					目標値
地域課題解決に向けた取組を行っている総合型クラブの割合	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3
	18.4%	23.3%	18.9%	16.3%	15.9%	15.3%	25.0%

第2期計画の数値目標 (平成29年度～令和3年度)

大学
スポーツ

【具体的施策】
大学スポーツアドミニストレータを配する大学：100大学

数値目標	計画策定時	実績値						目標値
大学スポーツアドミニストレータを配する大学	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R3
	—	—	17大学	26大学	34大学	40大学		100大学

(※障害者の週1回以上のスポーツ実施率はP.1再掲)

障害者
スポーツ

【施策目標】
障害者の週1回以上のスポーツ実施率を40%程度(若年層(7～19歳)は50%程度)とすることを目指す。

【具体的施策】
総合型クラブへの障害者の参加を促進(50%)

障害者スポーツ指導者の養成を拡充する(3万人)

「活動する場がない」障害者スポーツ指導者の割合を半減させる(7%)

障害者スポーツの直接観戦経験者：20%

数値目標	計画策定時	実績値						目標値
障害者(若年層(7～19歳))の週1回以上のスポーツ実施率	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R3
	31.5%	—	29.6%	—	30.4%	27.5%		50%程度

数値目標	計画策定時	実績値						目標値
総合型クラブにおける障害者の参加状況	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R3
	40.0%	—	35.2%	38.3%	38.0%	37.7%		50%程度

数値目標	計画策定時	実績値						目標値
障害者スポーツ指導者数	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R3
	2.2万人	2.3万人	2.5万人	2.6万人	2.7万人	2.5万人		3万人

数値目標	計画策定時	実績値						目標値
活躍する場がない障害者スポーツ指導者の割合	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R3
	13.7%	—	—	—	—	—		7.0%

数値目標	計画策定時	実績値						目標値
障害者スポーツの直接観戦経験者の割合	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R3
	4.7%	—	3.8%	—	—	—		20.0%

第2期計画の数値目標 (平成29年度～令和3年度)

スポーツ市場規模
【施策目標】
スポーツ市場規模5.5兆円を2020年までに10兆円、2025年までに15兆円に拡大することを旨す。

スポーツツーリズム／スポーツを通じた地域活性化
【施策目標】
スポーツ目的の訪日外国人旅行者数を250万人程度、スポーツツーリズム関連消費額を3,800億円程度、地域スポーツコミッションの設置数を170に拡大することを旨す。

スポーツを通じた国際交流・国際貢献
【具体的施策】
IOC、IPC、国際競技団体（IF）等の国際機関における役員数：35人

スポーツ・フォー・トゥモロー（SFT）によりスポーツの価値を100か国以上1,000万人以上に広げる

数値目標	計画策定時	実績値					目標値	
		H28	H29	H30	R1	R2	R2	R7
スポーツ市場規模 (スポーツGDPによる評価)	H27							
	5.5兆円 (7.4兆円)	－ (7.6兆円)	－ (8.4兆円)	9.1兆円 (8.7兆円)			10兆円	15兆円

数値目標	計画策定時	実績値						目標値
		H28	H29	H30	R1	R2	R3	
スポーツ目的の訪日外国人旅行者数	H27							
	138万人	150万人	187万人	195万人	229万人	－		250万人

数値目標	計画策定時	実績値						目標値
		H28	H29	H30	R1	R2	R3	
スポーツツーリズム関連消費額	H27							
	約2,204億円	約2,542億円	約2,702億円	約2,892億円	約3,584億円	約411億円		3,800億円

数値目標	計画策定時	実績値					目標値
		H29	H30	R1	R2	R3	
地域スポーツコミッションの設置数	H28						
	56団体	83団体	99団体	118団体	159団体	177団体	170団体

数値目標	計画策定時	実績値					目標値
		H29	H30	R1	R2	R3	
IOC、IPC、IF等の国際機関における日本人役員数	H28						
	25人	29人	30人	35人	35人		35人

数値目標	計画策定時	実績値					目標値
		H29	H30	R1	R2	R3	
SFTによる裨益国・者数	H28						
	193か国 348万人	202か国 664万人	202か国 964万人	204か国 1,207万人	204か国 1,246万人		100か国 1,000万人

第2期計画の数値目標 (平成29年度～令和3年度)

国際競技力の向上

【政策目標】
JOC及びJPCの設定したメダル獲得目標を踏まえつつ、我が国のトップアスリートが、オリンピック・パラリンピックにおいて過去最多の金メダル数を獲得する等優秀な成績を収めることができるよう支援する。

スポーツ・インテグリティ

【具体的施策】
全てのスポーツ団体において、スポーツ仲裁自動応諾条項の採択等によりスポーツに関する紛争解決の仕組みが整備されることを目指す。

数値目標	計画策定時	実績値					目標値
		H28	H29	H30	R1	R2	
過去最高の金メダル数 (オリンピック)	夏季12 (2016リオ)	冬季4 (2018平昌)	-	-	-	夏季27 (2021東京)	夏季16 (1964東京、 2004アテネ)
	冬季1 (2014ソチ)					冬季** (2022北京)	

数値目標	計画策定時	実績値					目標値
		H28	H29	H30	R1	R2	
過去最高の金メダル数 (パラリンピック)	夏季0 (2016リオ)	冬季3 (2018平昌)	-	-	-	夏季13 (2021東京)	夏季17 (2004アテネ)
	冬季3 (2014ソチ)					冬季** (2022北京)	

数値目標	計画策定時	実績値					目標値
		H28	H29	H30	R1	R2	
スポーツに関する紛争解決の仕組みが整備されているスポーツ団体の割合		45.0%	54.9%	56.8%	59.2%	60.2%	100%
※一つの評価指標としての参考値							